

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室課長	医療連携室

2025年度 第4回地域医療支援運営委員会議事録

日時 2026年2月26日(木) 14:00~15:00

場所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室2 / ハイブリッド形式

司会 小田 翔亮

出席者 【院外】(Zoom)田那村 収、升川 浩子、織田 盛久、青木 裕明、片岡 博喜

(来訪)相川 美代子、松坂 禎文、加藤 政幸、加藤 武嗣、

山田 貴淑(代理)、吉田 孝正(代理)

【院内】鈴木 克侍、廣岡 芳樹(Zoom)、小野 布佐子、越村 公宣

欠席者 【院内】碓氷 章彦

(敬称略)

1. 開会

- ・鈴木病院長より挨拶

インフルエンザB型が流行し学級閉鎖等も発生している中での出席に感謝申し上げる。藤田学園の規定により、2026年3月31日をもって病院長を退職し、以降は病院顧問として残ることとなった。これまでの支援に感謝する。

- ・新病院長(2026年4月就任)廣岡芳樹より挨拶

消化器内科(膵がん・胆道がん)が専門であり、最先端医療(BNCT等)と地域医療の持続を重視したい。「高度急性期医療」と「地域完結型医療」の両立を方向性とし、地域とともに進化する病院を目指す。

2. 当院からの報告(資料①)

- ・資料①の通り

前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告。(鈴木)

3. 各委員からご意見ご要望等

【愛知県医師会 理事 田那村収】

2月第1週をピークにインフルエンザB型やコロナウイルスが流行している。4月から開始される妊婦へのRSウイルスワクチンに関し、里帰り出産等の広域接種体制を整備中である。岡崎医療センターにもご協力いただけるとありがたい。

→当院は産科がないため難しいと考える。通常ワクチンに関しても全て医師会にお願いしている。その分我々は急性期治療にて貢献していきたいと考えている。(鈴木)

【岡崎市医師会 理事 升川浩子】

市民病院への一極集中が解消され、選択肢が増えたことで岡崎の医療が充実した。新病院長による膵がん治療の強化にも期待している。

→医師会に参加させていただき6年が経過するが、非常に良い関係を築けたことに感謝申し上げます。今後もよろしく願う。(鈴木)

【岡崎歯科医師会 会長 織田盛久】

手術件数の月ごとの変動理由と、退院後の誤嚥性肺炎による再入院の現状について伺いたい。
→手術件数の変動については、外傷数の増減や学会活動の影響がある。誤嚥性肺炎対策は、NST チームや口腔ケアを行うことにより対応している。(鈴木)

【岡崎薬剤師会 副会長 青木裕明】

地域フォーミュラを推進中であり、医薬品供給体制の整備を共に進めたい。患者向け広報誌ふじたおかざきは薬局で患者が熱心に読んでおり、情報提供の重要性を実感している。先日の地域医療支援研修会については自身も前向きに参加しており、研究者であった頃を思い出しながら懐かしくも思う。今後も講演を視聴し、さらに知識を増やしていきたい。
→地域フォーミュラについては我々も非常に尊重しており、特に災害時等はこのフォーミュラに則った処方をしていく。特殊な薬に関しては院内処方、院外処方の際はフォーミュラに則った形で処方するよう進めている。広報誌に関しては、なくなり次第連絡をいただければすぐにお届けする。(鈴木)

【岡崎市保健所 所長 片岡博喜】

インフルエンザの流行について、今年は異常に雨が降らないこともあり空気が乾燥し流行した可能性もあると考える。病院長交代に伴う医療法上の手続きに関して、医師免許証の原本照合が必要でありご協力願う。医療機関向け広報誌ニュースレターがとどいておらず、確認いただきたい。
→医師免許証の原本持参について承知した。広報誌については誠に申し訳ない。後日お届けするようにするため、ぜひご覧いただきたい。(鈴木)

【幸田町健康福祉部 参事 相川美代子】

幸田町からの救急搬送の多くを受け入れ頂き感謝する。インフルエンザについては、学級閉鎖になった数が昨年の約4倍であった。小児外科外来の開始は幸田町にとっても心強い。乳幼児健診で見つかった症例等の紹介を相談していきたいと考えている。
→小児外科外来については疾患が幅広いため、一度ご相談いただき、当院で完結しない症例に関しては豊明で治療させていただく。ぜひご依頼いただきたい。(鈴木)

【岡崎市立岡崎小学校 校長 松坂禎文】

理科教員向けの見学会は、ダビンチ体験までさせていただき非常に有意義であった。合唱発表会についても、来年度以降継続したい。
→理科の先生方に見学していただいたイベントについては、毎年開催したいと考えている。また本件を今回ご報告できず大変申し訳ない。次回必ずご報告させていただく。(鈴木)

【岡崎学区総代会 会長 加藤政幸】

岡崎小学校の6年生が岡崎医療センターで合唱を行った件について、継続して行ってもらえるとのこと大変ありがたい。患者向け広報誌ふじたおかざきについてとても楽しみにしており、地域のためにもなっている。総代会で藤田のことがよく話題になるが、数年前まで藤田はダイヤモンドプリンセスの乗客が来たというイメージであったが、今では藤田があることを自慢しており本当にありがたい変化である。今後も積極的に地域とのかかわりを続けていただければと思う。
→今年の6年生の卒業にあたり、お花を渡しに伺いたいと思う。小学生の合唱発表会や中学

生の職場体験受入れぜひ継続していきたいと考える。(鈴木)

【岡崎警察署 署長 加藤武嗣】

県内2位の検死件数を抱える中、岡崎医療センターの協力を深く感謝する。SNSを利用した投資詐欺やロマンス詐欺が急増しており、啓発ビデオやポスターでの呼びかけ協力をお願いしたい。また、詐欺電話をブロックするアプリもあるため、ぜひ職場に戻りお声がけいただきたい。

→ポスターや啓発ビデオは、でき次第ご提供いただければ当院にて患者や職員向けに周知させていただきます。我々もできることは全て協力したいと考える。(鈴木)

【岡崎東消防署 署長 山田貴淑】

管轄内の救急出動件数が7年間で28%増加し突出している。迅速な収容先の決定が不可欠であり、引き続きの受入れと隊員への指導をお願いしたい。

→地元消防からの依頼は断ることなくまずは診察するよう指導しており、これからも続けていきたいと考える。更なる救急受入強化を目指す。(鈴木)

【幸田町消防本部 消防次長 吉田孝正】

岡崎医療センターの開院により搬送時間が平均13分短縮され、救急業務の効率化につながっている。搬送の65%を岡崎医療センターが占めており、今後も感染症対策DVD等の活用を含め連携したい。

→搬送時間の短縮は治療開始の早期化に直結する。13分も短縮されたことはとても良いことである。啓発ビデオの効果も実感しており、新しいものがあればぜひご提供いただきたい。(鈴木)

4. 閉会

- ・来年度の開催予定日は以下の通り

2026年度第1回地域医療支援運営委員会 2026年5月22日(金) 14:00~15:00

※開催曜日が第4金曜日に変更となる

以上
文責：三好